

平成 19 年度 此花区取り組み方針 自己評価シート

19 年度具体的取り組み			19 年度の取り組み実績		19 年度の取り組み実績を踏まえた自己評価	20 年度区取り組み方針で 変更した項目
取り組み項目	予算額 (千円)	業績目標	19 年度に行った具体的取り組みと成果	業績目標の達成状況及び課題 : 達成 : 進捗が遅れている : 達成できなかった		
満足度の高いサービスの提供と区役所改革に取り組みます						
1. 新たな業務単位の検討や業務改善						
便利で快適なサービスの提供						
住民票や戸籍謄抄本等の申請書を統合し、住所・氏名などの記載の省略化を図ります。		請求用紙を一枚にまとめ、利便性を図る。	H19 年 11 月から統一申請用紙を採用		複数の請求申請の際、氏名・住所の記載の省略が図れ、利便性が向上した	—
住所異動や出生届に伴う国民健康保険や乳幼児医療助成・児童手当申請等の関連する業務を各担当へ書類を持って回るなど、連携することにより改善を図り、待ち時間を短縮します。		窓口での待ち時間の短縮や来庁者の利便性の向上をめざす。	異動届関係申請書類の一部について一括交付し、担当間において職員による引継ぎを行っている。 実施関係担当との協議を積み重ねた。	窓口レイアウト上スムーズに連携できない状況があり、現在、住民情報担当から保険年金担当、地域保健福祉担当へそれぞれ関係書類を回付するなどの連携により、利便性を確保している。	関係する担当において書類の回付など、連携を図ることにより、待ち時間の解消と来庁者の利便性を確保しているが、窓口レイアウトの変更時までは、達成するように取り組む。	変更なし (遅れている取り組みの早期の実施を目指す)
住民情報担当窓口にて電光案内掲示板を設置して、証明書の交付案内を分かりやすくします。		証明交付案内をわかりやすくする。		設備費用が確保できなかったため、未達成。	早期に実施する必要があるが、予算確保が困難な状況。20 年度住民情報担当の証明窓口と税証明窓口を同一窓口にとめる予定をしており、別方法も含め検討する。	変更なし
職員のプロジェクトチーム(各課から公募等)による、職場改善や業務改善に取り組みます。		職場改善の取り組みの定着を図る。	・第 3 回カイゼン甲子園に向けた予選会を実施(10 月中旬) 各担当での職場改善・業務改善につなげた。 ・各担当代表による業務改善委員会を中心に重点課題の改善・定着を推進。 ・公募によるプロジェクトチームを設置し、区長と区民の意見交換、区のホームページのリニューアルの検討、地域との協働のまちづくり事業の取り組みを行った。		プロジェクトチームによる職場改善や業務改善の取り組みは定着しつつあり、市民サービスや職場改善の取り組みについての認識も高まってきている。	変更なし (取り組みの充実を図る)
職員の接遇研修を実施し、より一層満足いただける窓口対応が行えるようにします。	144	親切で丁寧な対応により、満足度の高いサービスの提供を行う。	・19 年 10 月に係長級管理職対象にクレーム対応法の接遇研修を実施。その受講者から講師を選任し、20 年 2 月には係員対象の接遇研修を行い、満足度の高いサービスの提供につなげた。 ・日常業務の中で発生したクレーム事例を「市民の声処理票」(19 年 5 月作成)で情報収集し、情報の共有化を図るとともに接遇研修でも活用した		市民サービスの向上を図り、便利で快適で納得していただける市民満足度の高いサービスを効果的・効率的に提供するためには、職員の接遇力アップが重要であり、接遇研修の継続実施が必要である。	変更なし (より親切で丁寧な対応ができるようにする)
2. 情報の受発信機能の強化						
情報の受発信機能の強化						

平成 19 年度 此花区取り組み方針 自己評価シート

19 年度具体的取り組み			19 年度の取り組み実績		19 年度の取り組み実績を踏まえた自己評価	20 年度区取り組み方針で変更した項目
取り組み項目	予算額 (千円)	業績目標	19 年度に行った具体的取り組みと成果	業績目標の達成状況及び課題 : 達成 : 進捗が遅れている : 達成できなかった		
区の広報紙やホームページに区民からの情報提供による地域情報コーナーを新設するなど、区民参加による双方向の情報発信機能を充実させます。		区民参加による魅力のある広報紙、ホームページの作成をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> 区民からの投稿によるリレーエッセイコーナーを設け、毎月投稿により掲載している。 区民の投稿欄「このはな情報ひろば」を設け、区民からの活動のPRなどを掲載し、区民への情報の共有化を図った。(19年4月から) 		<ul style="list-style-type: none"> リレーエッセイは、毎月、地域の紹介や歴史、人について、さまざまな区民から投稿してもらい、好評であるが、「このはな情報ひろば」については、活用が少なく、区民からのさまざまな情報や活動のPR活用されるようにする必要がある。 	変更なし (地域への取材などにより、掲載内容を充実させ、魅力ある広報紙、ホームページになるように努める)
区のホームページの区独自機能を活用した、きめ細かい情報の提供等、内容の充実を図ります		きめ細かい情報発信、最新の情報提供をめざす。	区内のさまざまな行事などのレポートを掲載(19年5月から)ホームページをみやすくするためにリニューアルを実施。		地域担当制を活用した地域情報の掲載を行っているが、地域への取材によるホームページの即効性を活かした情報の提供やきめ細かい情報による魅力ある紙面づくりが必要である。	変更なし (ホームページの即効性を活かした最新の情報提供に努める)
子育て支援室の子育てに関する講習会を企画し、子育て支援に関する取り組みや様々な情報を発信します。		子育て支援室として独自企画の取り組みと情報発信の実施。	<ul style="list-style-type: none"> 8月に民生委員協議会と共催、ファミリーコンサートを開催(250人参加) ボランティアビューローと共催保育ボランティア養成講座(4回セット)開催・20人参加 ボランティアビューローと共催し、おもちゃライブラリー開催(親子50組参加) 2月に「1、2歳児子育て講座」開催 		<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援室としての独自予算がないため、他団体等と共催し事業を行ったが、予算確保が課題である。 また事業をとおして子育て支援室の周知をはかるなど情報発信としての成果があった。 	—
地域別の課題の把握やきめ細かい情報発信に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> 区内の関係機関との連携により「出前講座」のメニューの拡充を図り、より利用しやすい内容にします。 職員の「地域担当制」を地域の行事やボランティア活動、会議等への参加等の取り組みを拡充させます 		地域でのきめ細かい情報発信や意見交換により、区民の区政への反映をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりやまちづくり、保健医療制度などについての出前講座を実施。メニューを整理し、わかりやすく、利用しやすく改善し、地域への積極的なPRを行った。 地域担当制により、地域の清掃活動や各種行事等にボランティア参加し、地域との交流を図った。 		<ul style="list-style-type: none"> 様々な形で地域との交流を図ることにより、地域課題や区民ニーズの把握に努めるとともに、地域活動の支援や協働の取り組みの推進に役立てた。 	変更なし (「出前講座」のメニューを整理するなど、わかりやすくし、利用しやすくなるように改善) (地域担当制をニーズの把握の積極的な把握に活用)
区民と区長の懇談会を開催し、意見交換を行います。		区民の声の把握と区政への反映。	20年2月に「区長と語ろう～中学生が思う「わがまち」のテーマで、区長「まちの環境について」、「公園・施設について」、「わがまちに望むこと」など、活発な意見交換を行った。		中学生が感じていることや疑問などに応えるとともに、各中学校で取り組んでいることも報告され、また、これからの此花区について、理解し、考えてもらう機会となった。	変更なし
3. 効率的・効果的な組織運営・事業実施						
収入確保の取り組み						
ホームページや広報紙への広告掲載、区役所施設を利用した収入の確保を図ります。		収入目標：35万円	19年度の広告収入額 136.5万円を確保 広報紙 72万円 ホームページ 61万円 自動式カレンダー 3.5万円		広報紙やホームページによる広告が定着しつつあり、大幅に目標額を上回った。	20年度収入目標 150万円をめざす

平成 19 年度 此花区取り組み方針 自己評価シート

19 年度具体的取り組み			19 年度の取り組み実績		19 年度の取り組み実績を踏まえた自己評価	20 年度区取り組み方針で変更した項目
取り組み項目	予算額 (千円)	業績目標	19 年度に行った具体的取り組みと成果	業績目標の達成状況及び課題 : 達成 : 進捗が遅れている : 達成できなかった		
<p>市税、国民健康保険料の未収額の圧縮及び発生防止に向けた取り組みを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 督促強化、滞納処分の実施、口座振替の加入促進による納期内納付者の確保に努めます(収納率及び口座振替利用率の前年度実績を上回る数値目標を設定：平成 19 年度収納率向上対策会議の開催により決定) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 18 年度収納率を上回る(国民健康保険) ・ 未収額の圧縮、口座振替の加入促進(市税) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不現住調査の徹底や新規加入者の口座振替の勧奨などを取り組み、18 年度収納率の実績を大幅に上回った。 ・ 市税については、19 年 10 月に市税事務所に移行。 		<p>19 年度目標率を上回ったことは評価できる。</p>	<p>19 年度目標を上回る実績の確保に努める。</p>
<p>業務の集約化による効率的な業務運営を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市税事務所の設置による業務の集約化を図ります(19 年 10 月) ・ 市税事務所へのスムーズな移行を行います。 ・ 区広報紙・ホームページ等の活用や来庁市民に対する窓口におけるピラ等を利用した、市税事務所への移行の積極的な PR を行う。市民からの意見・要望については、毎月、財政局市税事務所担当課に報告する。区独自の手順書の作成等により、移行後の窓口の混乱を防ぐ。 ・ 総務事務の集約化を検討します。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 市税事務所へのスムーズな移行。 ・ 区民への積極的な広報。 ・ 効率的な業務の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市税事務所へのスムーズな移行のため、市民向けに数種類の周知ピラを作成し窓口に設置。 ・ 市政だより区版 9 月号に、市税事務所移転に関する記事を掲載。 ・ 毎月、市民からの要望等を財政局市税事務所担当へ報告。 ・ 人事、給与、計理事務などのブロック化や集約化の検討 	<p>庶務関係事務の一部、保健福祉センターの生活環境業務の集約化の予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民からの問合せ等に対しては、各担当において、親切、丁寧に受け答えできるように周知徹底したことで、ほとんどトラブルなく推移できた。 	<p>——</p> <p>業務の効率化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所庶務関係事務の集約化の検討。 ・ 保健福祉センターの生活環境業務を集約化。
4. 市民に信頼される区役所づくり						
市民に信頼される区役所づくり						
<p>情報公開の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に情報公開していく姿勢を職員に徹底させ、迅速に情報開示します。 		<p>市民に迅速に情報開示し、共有していく姿勢を職員に徹底し、根付かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部統制連絡会議を通じて各担当、各職員へ取り組みを周知徹底(19 年 7 月) ・ 各担当でのコンプライアンス研修の実施(20 年 1 ~ 2 月) ・ 入札情報などを区のホームページや庁内掲示板に公開(随時) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部統制会議の開催を多くし、意見交換等を十分に行い、各課題等について職員への周知を徹底した。 ・ コンプライアンス研修を各担当ごとで実施することにより、きめ細かな内容で実施できた。 ・ 職員のコンプライアンス意識の高揚と公平・公正に迅速な情報提供を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙やホームページなどで、政策企画段階からの区政情報の積極的な発信と開示を進める。 ・ 情報公開の徹底についての研修を実施し、積極的な情報開示と市民との情報共有について職員の意識改革を徹底する。
<p>個人情報保護の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区が保有している個人情報について、厳格な管理を徹底し、必要なくなった個人情報は廃棄します。 ・ 適正な証明発行や窓口・電話対応での個人情報保護、誤交付・誤送付防止の徹底に取り組みます。 		<p>個人情報の適正な管理。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報保護について課長会や内部統制連絡会議を通じて職員へ周知し、個人情報の管理、不要な情報の廃棄の徹底を図る。 ・ 各担当でのコンプライアンス研修を実施(20 年 1 ~ 2 月) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修や会議を通じて、全職員が個人情報に対する認識を高め、日常的に相互チェックすることを徹底した。 ・ 職員への個人情報の管理や不要になった個人情報の廃棄に徹底を図った。 	<p>変更なし</p>
<p>19 年度「此花区環境保全行動計画」に基づく、環境保全の取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重点目標として、両面コピー、ミスコピーの裏面利用、ペーパーレスの徹底を図り、用紙使用量を 20 年度までに 16 年度の 3% 削減を目指します。 		<p>20 年度までに 16 年度の 3% 削減を目指す。そのために両面コピー実行率 30% をめざす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料作成の最小限化、両面コピーの徹底、ミスコピーの裏面利用、メールの活用等によりコピー用紙の削減を図ってきたが、コピー使用カウントは 1.8% の削減であった。 ・ しかし、両面コピーについては 58.6% (19 年度) の利用があり、これを考慮すると 11.7% の減になる。 ・ コピー用紙の使用量としては 15.3% の増となっている。(選挙含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コピー用紙の使用量の増加は、19 年度は選挙が 4 回実施され、その資料作りやメールによる送付書類や資料のコピーの増が考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の取り組みとしては、資料作成の最小限化、両面コピーの徹底、ミスコピーの裏面利用、メールの活用等によりコピー用紙の削減をさらに徹底し、メール等のデータをプリントアウトする前の内容のチェックの徹底を行う。 	<p>20 年度「此花区環境保全行動計画」にもとづく、環境保全の取り組みの推進。</p>

平成 19 年度 此花区取り組み方針 自己評価シート

19 年度具体的取り組み			19 年度の取り組み実績		19 年度の取り組み実績を踏まえた自己評価	20 年度区取り組み方針で変更した項目
取り組み項目	予算額 (千円)	業績目標	19 年度に行った具体的取り組みと成果	業績目標の達成状況及び課題 : 達成 : 進捗が遅れている : 達成できなかった		
安全管理に関する全庁的な取り組みの推進 ・地域安全対策事務従事者の区内安全パトロールと連携し、区民の安全確保の取り組みを進めます。		区民の安全確保をめざす。	地域安全対策業務従事職員による区内パトロールの実施(18年5月～)を充実強化するとともに、各地域の見守り隊との一層の連携を図るため、合同研修会を実施(19年8月実施)。		地域の見守り隊等との情報交換を進め、地域と連携した見守り活動が展開できた。	変更なし
地域活動の支援、区民との協働による地域課題の解決とまちづくりを進めます						
1. 地域ニーズに応じた区の創意工夫による特色のある独自事業の実施						
個性と特色ある区の独自事業の実施						
創造都市を目指す取り組み「このはなアートプロジェクト」事業 (7,200千円) ・既存の居住空間に芸術性の高い壁画を区民とNPO団体や大学等との協働で製作し、憩いの場にするとともに、潤いのあるまちづくりを推進し、まちの魅力を発信します。	7,200	「区のシンボル」となる壁画を制作し「区民の憩いの場」を創出するとともに、協働の輪を広げ、アートによるまちづくりを発展させていく。	・公募による区民、学生、若手芸術家、区内の障害者作業所などの参加並びに舞洲陶芸館の協力によるワークショップ方式により、此花区民ホールと六軒家川の堤防にシンボルとなる壁画を完成させた。また、区民まつりや区内のイベントで多くの区民が壁画の素材作りに参加した。 ・20年3月には、プロジェクトを取り組んだメンバーや施設を中心に、完成イベント(このはなアートフェスタ)を開催し、400名を超える参加があり、アートによるまちづくりをアピールした。		制作段階から区民参加、芸術家などとの協働により取り組むとともに、壁画の素材作りには多くの区民が参加をした。アートのある潤いのあるまちづくりとして、区民にアピールでき、今後、発展させるきっかけとなった。	20年度は制作場所を拡充し、アートによるまちづくりを進め、憩いと交流の場づくりをめざす。 また、芸術家の育成や商店街との連携による制作拠点作りの検討を行う。
「このはなかえっこクラブ」の創設事業 (4,820千円) ・子ども対象のおもちゃの物々交換プログラムである「このはなかえっこクラブ」に「防災訓練」「防災教育」「世代交流」などのテーマを合体させ、子供たちが楽しんで参加できる独自の新しい地域貢献型事業として区民と協働で取り組みます。	4,820	さまざまな地域団体が協働して取り組む地域活動のプラットフォームづくりをめざす。	18年度まで実施してきたまちづくりワークショップのメンバーを中心に、「このはなカエルクラブ」を創設して、おもちゃの物々交換である「かえっこパズル」を2回開催。それぞれ400名を超える親子の参加があった。		教育、防災、福祉のまちづくりワークショップのメンバーが主体になり、さまざまなコーナーを準備し、2回のかえっこパズルを開催。準備段階から子どもも参加して企画を検討するなど、イベント、準備を含め世代間交流の場となった。	19年度に創設した「このはなカエルクラブ」のメンバーを中心にまちづくりに必要な能力を身につけてもらう「まちづくり開発セミナー」を実施。セミナーのメンバーを中心に「かえっこパズル」を開催。
雇用促進基金を活用した写真集作成事業 (16,402千円) (「目で見る」此花の「昨日 今日 明日」をテーマとして作成)	16,402	写真集により歴史の中や地理の上で当区の位置を認識することにより、さらなるまちの発展に役立てる。	19年4月から7月にかけて、対比する「今日」の写真は区民のアドバイスを受け撮影、8月から「明日」の写真はCG等で広く区民から公募し9月からは、郷土史研究会や学識者のアドバイスを受け、時代考証を行った。		郷土史研究会や学識者のアドバイスを受け、写真集の完成させることができた。昭和30年に刊行した此花区史以降、区の歴史をまとめた資料がなかったことから貴重な資料が完成した。	—
雇用促進基金を活用した自転車整理事業 (8,130千円) (駅前駐輪場の利用促進や日曜日の駐輪対策を実施)	8,130	休日の駅前放置自転車の整理を行うとともに、自転車利用者に対して駐輪場の利用を促すことで、駐輪マナーの向上と駅前の歩行空間の確保を図る。	19年6月から毎週土曜日と全祝日において駅前放置自転車の整理及び利用者への啓発活動を行い、併行して放置自転車実態調査を実施した。		19年度については、実態調査を行い、また休日等について、サイクルサポーターによる啓発業務については一定の目標達成はできたが、引き続き啓発活動は必要である。	・放置自転車ゼロの実現をめざした取り組みの推進。 20年度は、西九条駅前、千鳥橋駅前、安治川口駅前を中心に地元商店街を含めた取り組み実施。(地域住民の参加型、啓発・指導・整理の放置自転車対策)

平成 19 年度 此花区取り組み方針 自己評価シート

19 年度具体的取り組み			19 年度の取り組み実績		19 年度の取り組み実績を踏まえた自己評価	20 年度区取り組み方針で変更した項目
取り組み項目	予算額 (千円)	業績目標	19 年度に行った具体的取り組みと成果	業績目標の達成状況及び課題 : 達成 : 進捗が遅れている : 達成できなかった		
花と緑のまちづくり「此花区グリーンフェスタ」 ・花と緑の「地域の拠点」づくりなど、多様な行事を実施し、区民の緑化意識の高揚、緑化に関する知識の普及等を図り、緑豊かなまちづくりとコミュニティづくりを進めます。	1,472	緑豊かなまちづくりとコミュニティづくりをめざす。	緑化リーダー・ボランティアによる緑化推進の取り組みを推進 ・花らんまん2007への出展(19年5月) ・各地域の拠点である「ふれあい花壇」「区役所玄関」「フレタス正蓮寺川」の花壇の定期的な植え替えや日々の管理の実施。 ・区民まつりでの緑化コーナーの設置(19年9月) ・ホットハートふれあいまつり(19年10月) ロビーコンサート(19年9月)でのプランターの飾りつけや苗木の配布。 ・寄せ植え講習会(19年10月)、施設見学会(19年11月)の開催。		緑化リーダー・ボランティアを中心に、各地域の拠点である「ふれあい花壇」「区役所玄関」「フレタス正蓮寺川」の花壇の定期的な植え替えや日々の管理、さまざまな区内での催しなどでの啓発活動、また、緑化講習会の開催などにより、区民への緑化意識の高揚に努め、みどり豊かなまちづくりの推進が図れている。	—
此花まちづくりワークショップ ・「キッズカーニバル このはなとーまれ」「ホットハートふれあい祭り」「ハピネスふれあい音楽祭 in このはな」の開催に対し、地域団体が自立し自主的な活動を展開できるように支援します。		区民と行政の協働により、自主的な活動になるように支援。	・「ホットハートふれあい祭り」(19年10月) 「ハピネスふれあい音楽祭 in この花」(19年12月)を、区民主体の実行委員会により開催。 ・「キッズカーニバル このはなとーまれ」は「このはなかえるクラブ」に発展させ、参加のメンバーを中心に開催(20年3月)		区民参加によるワークショップの参加者を中心に、区民と行政の協働によるまちづくり事業が進んできている。特に、「ホットハートふれあい祭り」及び「ハピネスふれあい音楽祭 in この花」は、区民が主体の実行委員会により、住民主体の取り組みに発展しつつある。	まちづくりを担う人材を養成し、地域の活性化をめざす。 ・「このはなかえるクラブ」のメンバーを中心にまちづくりに必要な能力を身に付ける開発セミナーを実施。セミナー参加者を中心に「かえっこバザール」を開催。
当区独自の制度である「まちづくり活動補助金・市民活動支援金制度」を活用し、地域活動を支援します。	2,000	まちづくり活動補助金・市民活動支援金制度を活用し、地域活動を支援。	まちづくり活動補助金を活用して14事業に活動助成を行い、市民活動支援金制度を活用して、一斉清掃やマナーアップ、緑化推進事業などへの活動支援を実施。新たな事業や地域での協働の取り組みが進んでいる。		活動補助金を活用した資金面での支援により、新たな事業が進んでいる。また、市民活動支援金によるまちづくり活動支援により、地域の協働によるまちづくり事業が発展してきている。市補助金資金が19年度で終了しているため、これにかわる新たな財政支援策が必要である。	—
環境局企画の舞洲工場での「環境と芸術フェスタ」を関係機関、企業、市民団体などと連携してすすめ、舞洲の活性化を促します。		3月開催	20年3月環境局により実施。区は側面から協力した。	当初共催予定であったが、日程や取り組み内容等で、区の意向が理解されなかった。	—	—
2. 市民との協働による地域特性を生かしたまちづくりや地域活動の支援						
区民との協働のまちづくりの推進						
安心安全なまちづくりの推進						

平成 19 年度 此花区取り組み方針 自己評価シート

19 年度具体的取り組み			19 年度の取り組み実績		19 年度の取り組み実績を踏まえた自己評価	20 年度区取り組み方針で変更した項目
取り組み項目	予算額 (千円)	業績目標	19 年度に行った具体的取り組みと成果	業績目標の達成状況及び課題 : 達成 : 進捗が遅れている : 達成できなかった		
<p>各地域ごとの「防災マップ」を使った小学校区単位での住民参加型イベントを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地震、津波による災害時に備えた知識を身につけながら、各家庭で防災対策を考えてもらう ・地域における避難訓練や防災体制の充実のための研修、ワークショップなどを地域で主体的に実施できる体制づくりを行います。 	883	地域と行政が一体となった災害に強いまちづくりを進めるため、住民参加型の防災訓練や、地域における避難訓練を支援していく。	5月20日梅香小学校校区にて、住民参加型の防災トライアルを地域・学校協働で防災を考える機会として、まち歩き、防災マップを作成しゲームを通じて地域防災力の向上を図った。		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、防災リーダー研修を実施しているが、地域における避難訓練や防災体制の充実のための研修などを地域が主体となることができるようにする必要があり、引き続き未実施校区においても「防災マップ」を利用した住民参加型イベントを実施する。 	<p>変更なし。取り組みの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力の向上を目指すため効果的、実践的な地域ぐるみの防災活動ができるよう訓練をレベルアップさせ、初期初動体制の充実を図る。
<p>地域防災リーダーを育成します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災リーダーを各町会2名になるよう増員し、指導者研修を実施します。 	482	3年計画で19年度200名、20年度240名を目指し、防災知識と技術を持ったリーダーの育成を支援していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月17日に無線交信訓練を実施 ・19年5月に新任リーダー研修会を実施(32名) ・19年5月から7月の毎日曜日にリーダー技術研修会を実施(計6回) 		<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画した取り組みについてほぼ目標に達した。 ・引き続き、継続した研修等を実施する。 	<p>変更なし。取り組みの充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダーを220名から240名へ増員するとともに、各連合ごとの指導者研修を実施。
<p>子どもの安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「見守り隊」等と連携して、関係者による情報交換を行いながら日常の活動を企画・展開します。 		平成19年3月に開催した第1回地域見守り隊意見交換会の実績に基づき、今年度はさらに内容充実させた協働の取り組みを展開していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・19年8月に各地域の見守り隊合同会議を開催し、情報交換を行った。 ・19年7、9月、20年2、3月区青少年団体とともに地域の夜間巡視を実施し、青少年の非行防止に努めた。 		<p>地域に根ざした活動を行っており、小学校の見回り、幼稚園・保育所の引率など多様化しており、地域に認知をされてきた。</p>	<p>変更なし。取り組みの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校を決め、警察・学校・地域見守り隊・区との協議の場を設け更なる見守り活動への参加を促進する。
「地域福祉アクションプラン」の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の地域性を生かしたまちづくりとなるよう支援します。 	502	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の地域性を生かしたまちづくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルトップを800kg集めると車椅子1台と交換できる“ブルトップでつながろう”事業が順調に進んでおり、車椅子1台を特養に寄贈した。 ・特養老人ホームガーデン天使で“どこでもコンサート”を開催し、100名の参加者で満員となった。 ・“ウォールペインティング壁に夢を咲かせよう”事業で、伝法漁港の全長54メートルの壁に、220名のボランティアで広大な海の風景を描いた。 ・どこでもコンサートやロビーコンサートを実施し、延べ1500名の参加があった。 ・昔遊びを通じた世代間交流事業「3丁目の夕日」を開催し500名の参加があった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の地域性を生かしたまちづくりや、アクションプランのホームページを利用した住民への広報については、一定の成果があり、引き続き、推し進めていく。 ・地域別住民懇談会については、西島以外の地域では開催できなかったが、20年度～22年度にかけて実施予定 	<p>特に変更なし。内容の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の地域性を活かしたまちづくりとして、より福祉に重点をおいた活動となるよう支援する。 ・幅広い区民の参画や地域毎の地域福祉アクションプランの推進体制を整えるため、地域別の住民懇談会を開催し、地域の特性に応じた課題と解決策を話し合う。
<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い区民の参画や地域毎の地域福祉アクションプランの推進体制を整えるため、地域別の住民懇談会を開催し、地域の特性に応じた課題と解決策を話し合います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い区民の参画や地域毎の地域福祉アクションプランの推進体制の整備により、地域の特性に応じた課題と解決策の検討。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉アクションプランの推進体制の整備は、ほぼ達成できたが地域別住民懇談会については、西島で3回開催したが、西島以外の地域では開催出来なかった。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・区のホームページの地域福祉アクションプランサイトを充実する。 	194	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉アクションプランの住民への広報。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区のホームページの地域福祉アクションプランのサイトをリニューアル(20年2月) 			

平成 19 年度 此花区取り組み方針 自己評価シート

19 年度具体的取り組み			19 年度の取り組み実績		19 年度の取り組み実績を踏まえた自己評価	20 年度区取り組み方針で変更した項目
取り組み項目	予算額 (千円)	業績目標	19 年度に行った具体的取り組みと成果	業績目標の達成状況及び課題 : 達成 : 進捗が遅れている : 達成できなかった		
「此花区まちづくり会議」による地域活動の推進						
<p>“クリーンアップ大作戦”のバージョンアップや区民と協働による区内のマナーアップに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度から毎月第1日曜日に実施している“クリーンアップ大作戦”(区内地域一斉清掃)の参加者の増加をめざします。 ・スペシャルバージョンとして、舞洲の一斉清掃活動を区民、企業などの参加で実施します。 ・タバコ(迷惑タバコ)のポイ捨て禁止運動と同調して、区内のマナーアップを区民と協働で取り組みます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンアップの参加者を1,000名から1,500名にする。 ・舞洲の清掃活動に1,000名の参加者をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月一回実施している地域一斉清掃は全域で実施され定着し、1000名を超える参加がある。 ・スペシャルバージョンとして、舞洲の一斉清掃活動を1000名の区民、企業の参加で協働の取り組みとして実施。 ・マナーアップをめざす取り組みとして、区民にマナーアップに関する標語や川柳などの作品を募集し、約60の作品の応募があり、広報紙で順次紹介している。 	<p>取り組みは定着し、10地区全域で実施されているが、1,500名の参加にはいたっていない。</p>	<p>地域一斉清掃は地域の協働のまちづくりとして定着している。</p> <p>スペシャルとして取り組んだ舞洲一斉清掃には1000名の区民が参加し、企業、地域福祉のアクションプランのメンバー、女性会をはじめ地域団体によるイベントや模擬店コーナなど、協働の取り組みとなった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「エコアクションプロジェクト」事業の推進 区民、商店街と協働して環境問題に対する区民運動に取り組む。 ・引き続き、クリーンアップ大作戦(地域一斉清掃)の取り組みを推進。 クリーンアップ大作戦の参加者増(1500名をめざす) 区民・行政・企業の協働によるスペシャル版を検討。
<p>当区独自の制度である「まちづくり活動補助金・市民活動支援金制度」を活用して、地域の課題を区民と議論しながら協働のまちづくりを実施します。</p>	2,000	<p>区民の自主的な活動支援や協働のまちづくりの推進をめざす。</p>	<p>まちづくり活動補助金を活用して14事業に活動助成を行い、市民活動支援金制度を活用して、一斉清掃やマナーアップ、緑化推進事業などへの活動支援を実施。区民の自主的な新たな事業や地域での協働の取り組みが進んでいる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・活動補助金を活用して、資金面での支援を行った新たな区民による自主的な取り組みが進むとともに、市民活動支援金による活動支援により、地域での協働の取り組みが前進している。 ・市費によるまちづくり活動補助金、市民活動支援金制度については、19年度で終了しており、新たな財政支援策が必要である。 	—
子育て支援事業の推進						
<p>地域における「子育ての拠点」づくりや「子育てサークル」の活動を支援します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区社会福祉協議会で実施している子育て支援事業と連携して、保護者の自主運営による「子育てサークル」を立ち上げ、地域における子育ての拠点づくりを行います。 		<p>各校下単位に主任児童委員を中心とした「子育てサロン」を立ち上げ、自主的な「子育てサークル」を育成する。</p>	<p>各校下社協に働きかけた結果、3地区で子育てサロンが立ち上がり、他地区でも子育てサロンの展開がすすみつつある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3校下社協で子育てサロンの開設、他5校下社協は展開中。 校下社協を中心としての活動であり、地域により開設の早い遅い、またはサロンとは別の形で取り組みが進むところもあると考えている。 	<p>順調に子育てサロンの開設が進み、子育てサークルが形成されつつある。初年度としては予想以上の成果があった。3年をめどに全区展開をはかる。</p>	<p>変更なし。取り組みの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとの「子育てサロン」の開設を支援。 区役所にキッズルームを開設する。 子育てサロンを開設する(2箇所) 子育てボランティア講座を実施し、ボランティアの各種事業への参加を推進する。
<p>子育てネットワークを活用した子育て事業を実施します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の保育所と連携した「子育て相談」や「子育て講座」「親子のふれあい遊び」などを企画し、地域の親子の参加を呼びかけます。 		<p>18年秋に立ち上げた「このはネット会議」で子育て事業を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「このはネット会議」6回開催。 ・19.11月区民ホールで子育てイベント「親子ふれあい遊び」を開催し、100組以上の親子の参加があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各子育て関連機関で情報交換する中で横のつながりができた。 ・各機関が連携し、未就学児を対象としたイベントを開催し、このはネットの活動が広がった。 	<p>未就学児対象の企画が今まであまりなかったが、いろいろなニーズのあることが確認できた。子育てネットワークの活性化につながる成果があった。</p>	<p>変更なし。事業実施を充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「このはネット会議」での子育て事業の運営を支援。 ・保育所と連携した子育て相談や子育て講座などを実施する。

平成 19 年度 此花区取り組み方針 自己評価シート

19 年度具体的取り組み			19 年度の取り組み実績		19 年度の取り組み実績を踏まえた自己評価	20 年度区取り組み方針で変更した項目
取り組み項目	予算額 (千円)	業績目標	19 年度に行った具体的取り組みと成果	業績目標の達成状況及び課題 ：達成 ：進捗が遅れている ：達成できなかった		
地域活動プラットフォームの形成などの仕組みづくり						
此花区のまちづくりプラン関係の連携を図り、共同での取り組みを検討						
「此花区まちづくり会議」「地域福祉アクションプラン推進委員会」のメンバー、事務局の相互参加や社会福祉協議会、此花区コミュニティ協会や自主的に区民が取り組んでいるまちづくりメンバー等と積極的に意見交換をしながら、共催事業の検討等、共同で取り組むことが可能な分野から新しい仕組みづくりをはじめます。		まちづくりを推進する関係機関の連携、交流を進め、地域活動のプラットフォームの形成をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり会議、地域福祉アクションプランの会議にそれぞれの事務局から参加し、情報の共有化を図ってきた。 ・まちづくり会議が主体となって取り組んだ「クリーンアップ大作戦のスペシャル版（舞洲一斉清掃）」では、女性会や地域団体、地域福祉アクションプランのメンバーやまちづくりワークショップのメンバーも参加し、模擬店やコンサートなど、各種イベントコーナーを担当し、共同の取り組みが広がった。 ・アートプロジェクトの完成イベントである「このはなアートフェスタ」では地域福祉アクションプラン、コミュニティ協会、体育指導委員協議会、郷土史研究会など、幅広い団体の共同により取り組みを行った。 	「まちづくり会議」「地域福祉アクションプラン推進委員会」の連携を図り、可能な分野での協働事業の実施に努めるとともに、さまざまなイベントにおいて、地域団体への呼びかけを行い、共同して取り組みを行うなど、個別の取り組みでの連携・交流の場作りは進んでいる。今後、日常的な連携や交流の場を設け、取り組んでいく必要がある。	「まちづくり会議」「地域福祉アクションプラン推進委員会」の連携や各種団体との協働の取り組みが進んできているが、区役所やコミュニティ協会、「まちづくり会議」「地域福祉アクションプラン推進委員会」、各種団体による同じような事業がばらばらで実施されてるケースが見受けられ、情報・課題の共有化を進めながら、事業の共同実施や統一を行うなど、効率的・効果的な事業実施を検討する必要がある。	変更なし 取り組みの充実を図る。 ・コミュニティ協会や区社会福祉協議会、NPO法人、その他まちづくりに取り組んでいる自主的なグループ等と積極的に意見交換し、地域活動プラットフォームへの参画を促します。
区の広報紙とホームページを活用し、まちづくり会議や地域のまちづくり情報など、様々な地域活動の情報発信を充実します。		さまざまなまちづくり活動の情報を発信することにより、連携や共有化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・区のホームページの「此花区まちづくり会議」「地域福祉アクションプラン」のサイトをリニューアルし、それぞれの取り組み内容などを周知している。 ・区の広報紙に「此花区まちづくり会議」のコーナーを設け、毎月の取り組み内容を周知するとともに、「地域福祉アクションプラン」の取り組みを随時広報し、区民への周知を図った。 		区の広報紙、ホームページを活用して、とりくみ内容や事業の周知など随時広報活動に努め、区民への浸透を図ってきた。実施した取り組みにおいてはいずれも多く参加者があり、浸透しつつあるといえる。	—